

【紙袋の製造に用いる製袋機】 ニューロング工業株式会社



作:上島カンナ



いえいえ...
あの、なぜ
紙の妖精が
ここに?

—すみません
驚かせて

会議室



わかって
ませんか?

.....
なるほど



いえ、紙袋を
作る機械を造る
会社です

こっつて紙袋を
作ってる会社
でしたっけ



この紙袋も
ウチで作った
ものなんですよ

ドヤア

彼は
ニューロング工業の
守り神なんです!

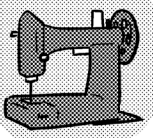
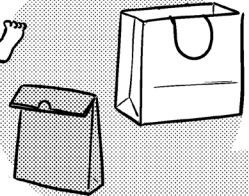


ウチはもともと
麻袋用ミシンの
製造・修理を
する会社でした

1941年
長ミシン商会創立
↓
1956年 法人化
「ニューロング工業株式会社」
新しい 長

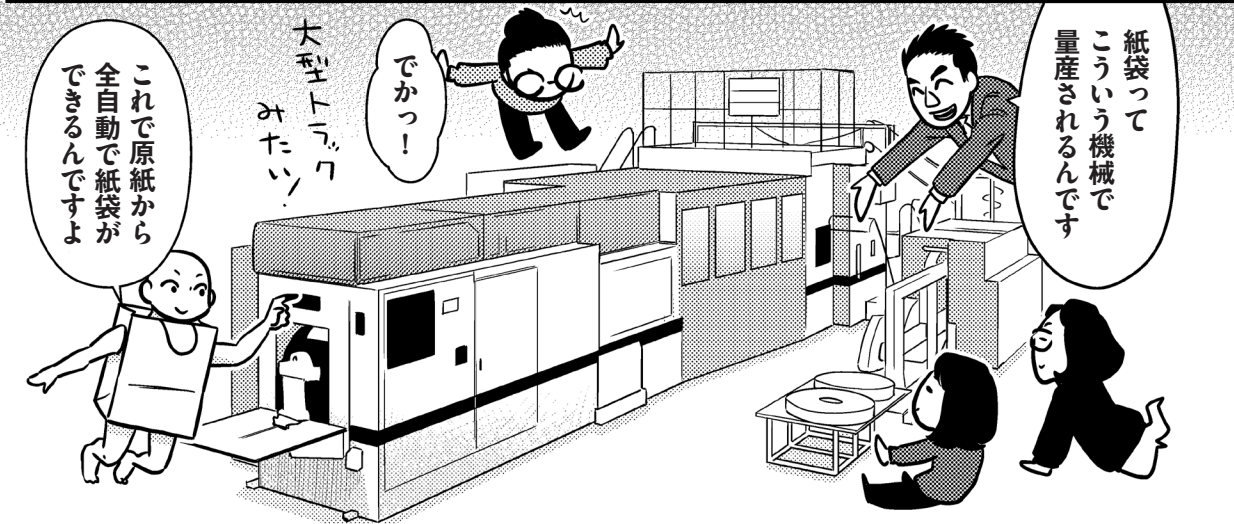
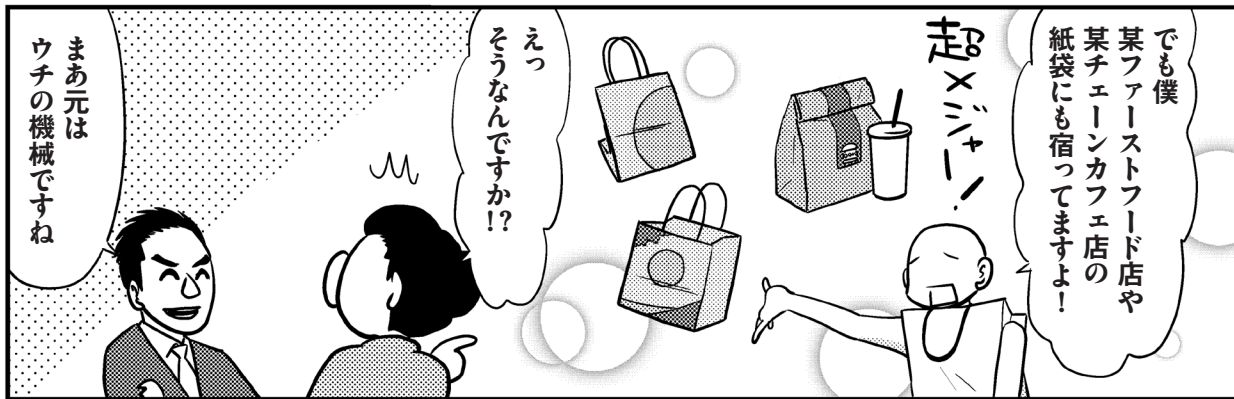
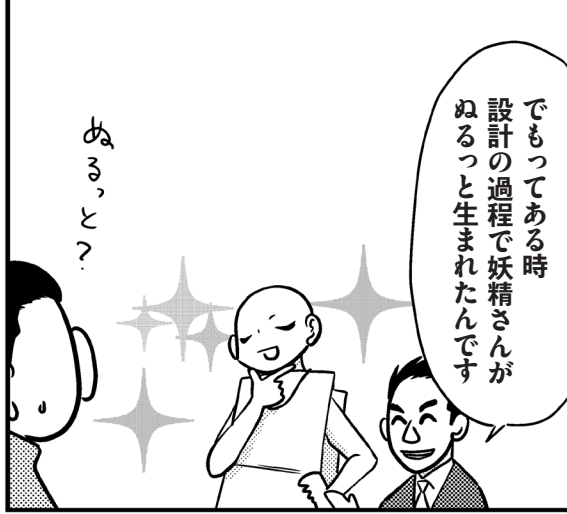
時代とともに
麻袋から紙袋へ
需要が移りまして

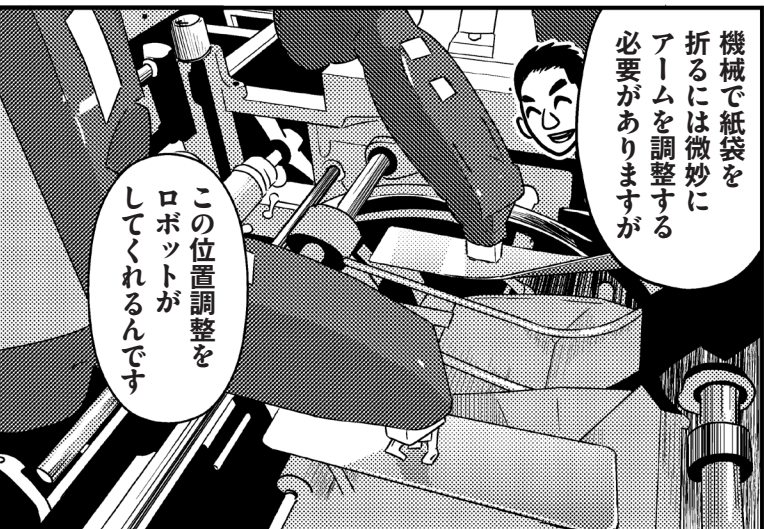
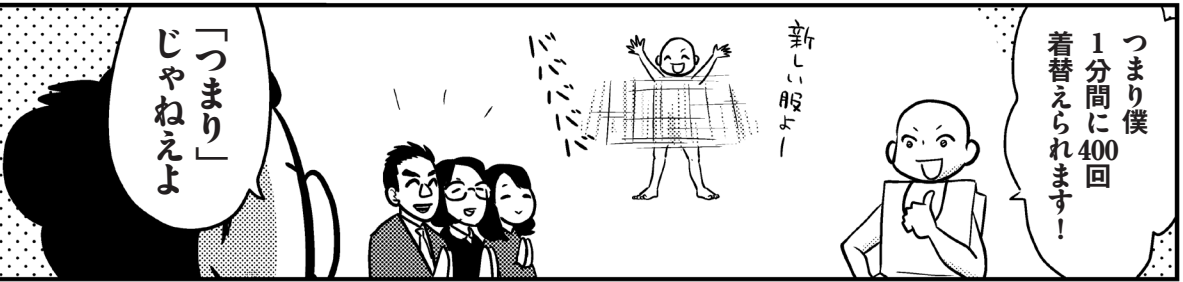
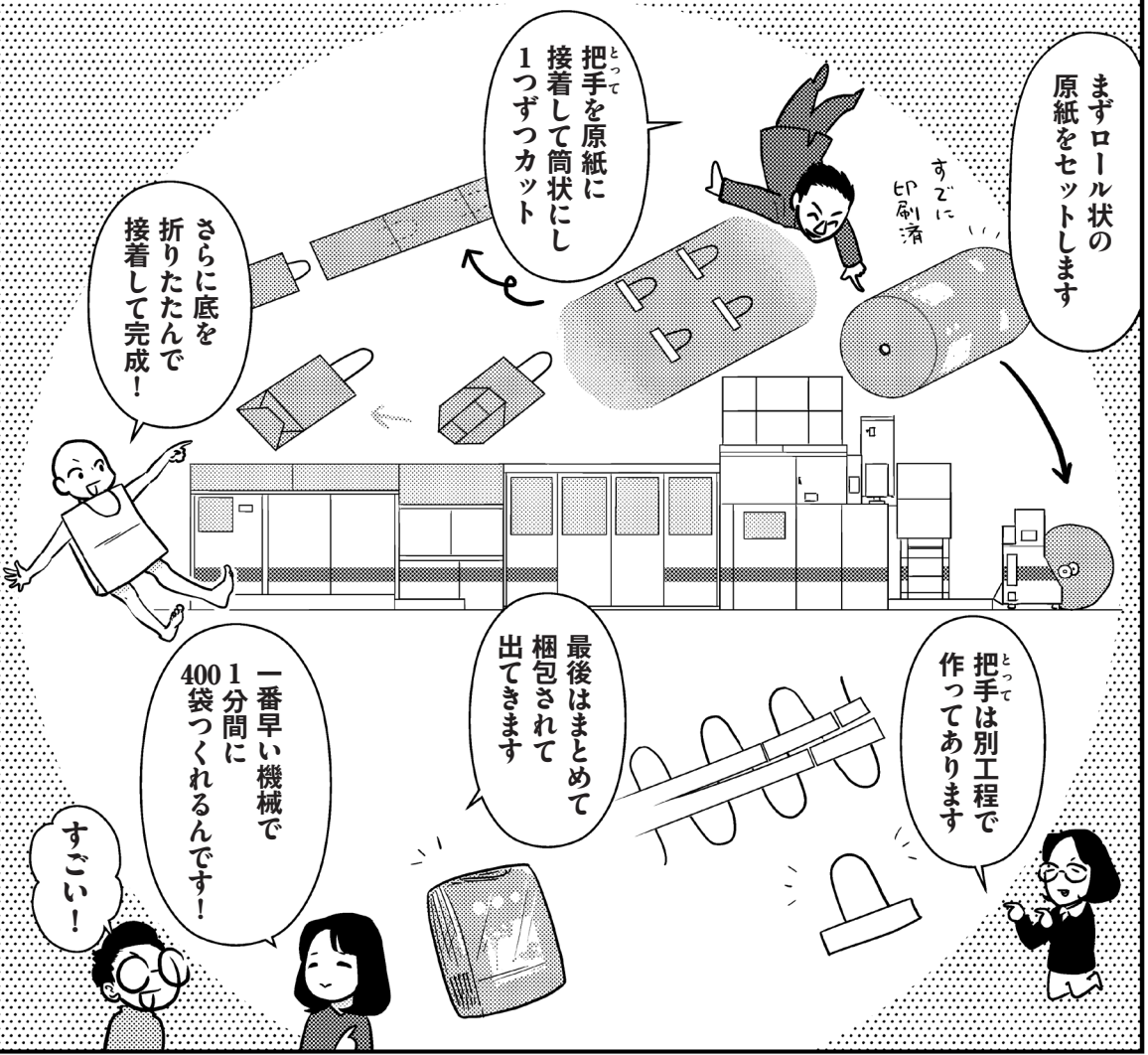
1960年にドイツの
ガルテマン・ホルマン社と
技術提携し、国内初の
角底製袋機を発売しました



紙袋の歴史









今までは毎回
機械を止めて
職人がスパナで
調整してましたが

ロボットアームが
あれば止めずに
誰でもタブレットで
調整できます

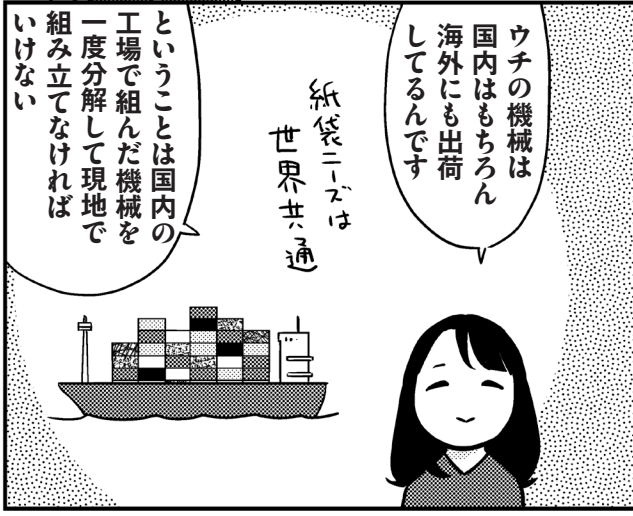
これで安全性も
生産性もアップ

特許取得済
です！



組み立てる時間は
減らしたいよね
ってことで

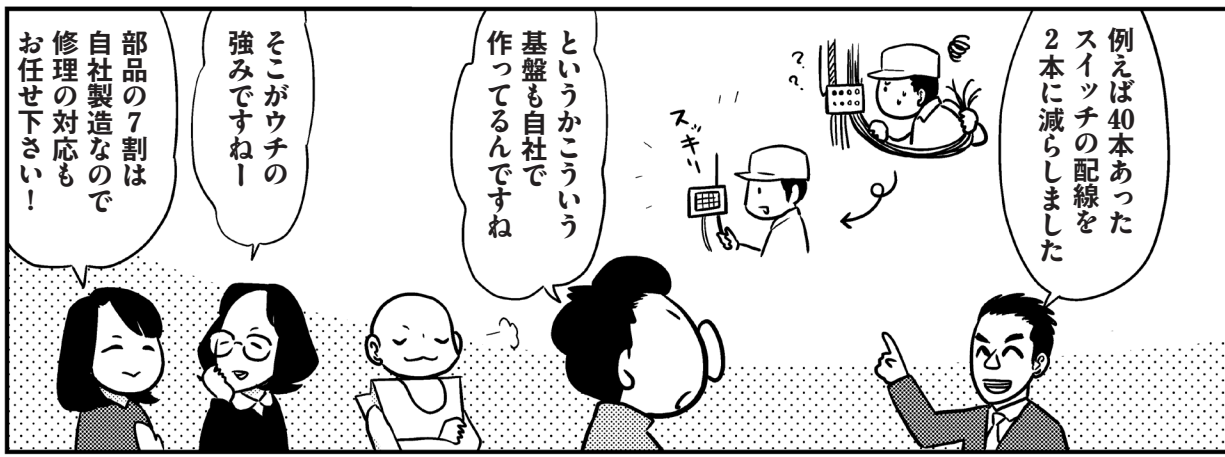
できるだけ工数を
減らす工夫を
重ねてきました



ウチの機械は
国内はもちろん
海外にも出荷
してるんです

紙袋ニーズは
世界共通

ということは国内の
工場で組んだ機械を
一度分解して現地で
組み立てなければ
いけない

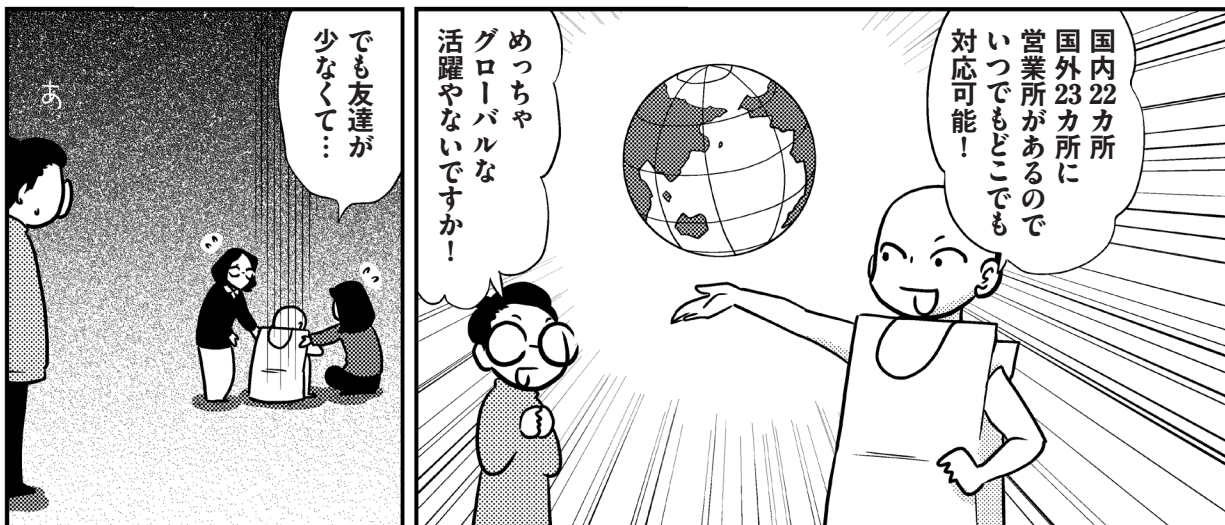


例えば40本あった
スイッチの配線を
2本に減らしました

というかこういう
基盤も自社で
作ってるんですね

そこがウチの
強みですね！

部品の7割は
自社製造なので
修理の対応も
お任せ下さい！



国内22カ所
国外23カ所に
営業所があるので
いつでもどこでも
対応可能！

めっちゃ
グローバルな
活躍やないですか！

でも友達が
少なくて…



たぶん僕の
見た目が原因
じゃないかと

自覚
あるんだ

あと
言ってるいいんだ
それ



というわけで
この度開発したのが
こちら!

TN2636H-SS

紙製の底を
折る工程でどうしても
ついてしまうこのスジ!

これをなくしつつ
高コストで量産できる
画期的なマシンです!

今更ごより
ぐうとお母へ
ずいっと速く



どうですかこの
平らで滑らかな
前面!

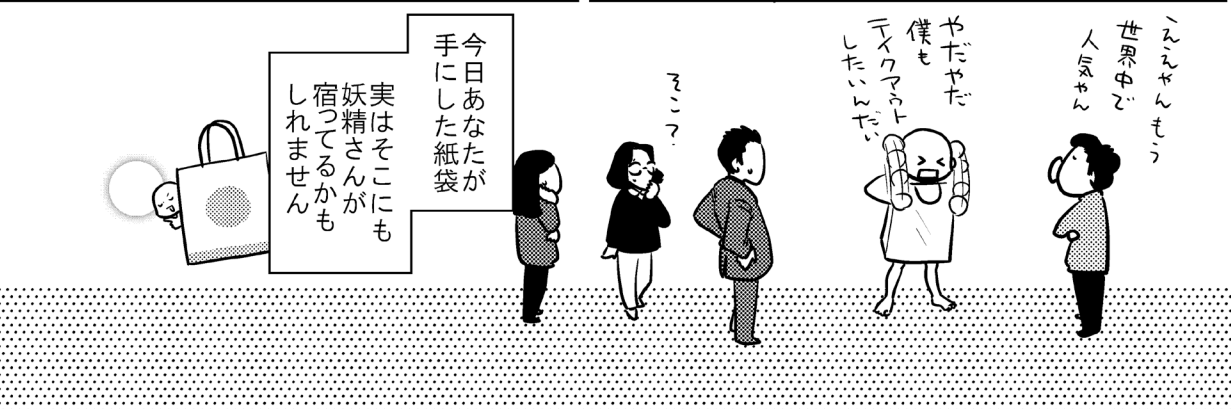
美しいわ
妖精さん!

これは人気者
まちがいなし!

どうですか
マンガ家さん!

…本人が満足なら
ええんちやいます!

投げやりに
なってない?



へんげんも
世界中で
人気さん

やだやだ
僕も
テイクアウト
したいんだ

……

今日あなたが
手にした紙袋
実はそこにも
妖精さんが
宿ってるかも
しれません

